

「生駒市コミュニティバス（北新町線・萩の台線）実証運行期間の延長について」説明資料

○結論

協議会での協議結果を尊重し、2路線の実証運行期間を最長2年間延長することとする。ただし、1年後に評価し、①本格運行への移行、②実証運行の継続、③運行の廃止を決定することとする。

1 生駒市公共交通活性化協議会の報告

生駒市コミュニティバス実証運行路線の対応方針について（報告）

このことについて、平成28年7月28日開催の第2回生駒市公共交通活性化協議会において、生駒市コミュニティバス実証運行路線（北新町線、萩の台線）の対応方針について、協議が調いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

両路線とも、現行の評価基準（運行経費に対する市の負担割合が50%以下の要件）を満たしていない。しかし、利用者は増加傾向にあり、公共交通サービスの運営に対して、自治会の協力が得られており、今後も利用促進に向けた取り組みの意欲が見られる。

このことから実証運行を最長2年間延長する。ただし、1年後に評価し、①本格運行への移行、②実証運行を継続、③運行の廃止を決定する。

平成28年8月30日

生駒市長 小紫雅史殿

生駒市公共交通活性化協議会

会長 小紫雅史



2 平成27年度業務委託料内訳（決算）

項目	北新町線	萩の台線	門前線	西畑・有里線	光陽台線
運行日数	243日				
利用者数	6,930人	4,702人	36,090人	7,370人	42,013人
業務委託事業所	生駒交通				奈良交通

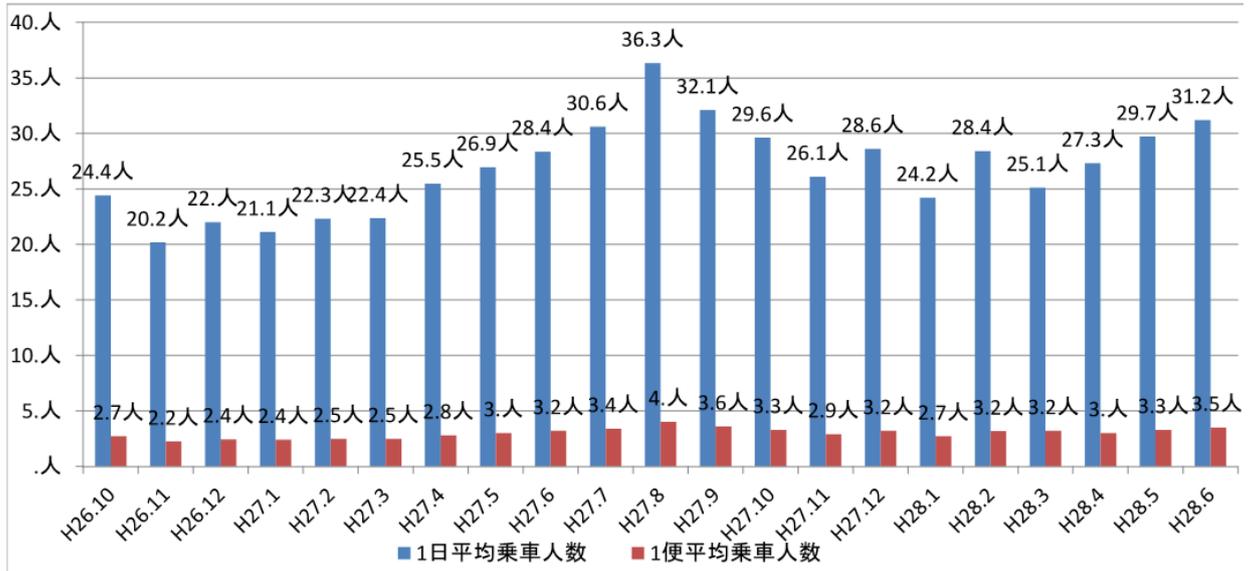
運行経費	車両使用料等	3,420,000円	3,420,000円	559,200円	1,308,000円	1,693,224円
	初期経費	455,220円	464,400円	291,600円		300,132円
	【経常的な費用】 運行委託費(A)	6,441,660円	6,873,850円	6,341,894円	6,190,378円	10,922,511円
	計(B)	10,316,880円	10,758,250円	7,192,694円	7,498,378円	12,915,867円

収入	運賃収入	1,294,295円	764,740円	4,622,165円	1,250,320円	5,870,805円
	広告収入			12,960円	12,960円	
	国庫補助金				3,026,000円	
	計(C)	1,294,295円	764,740円	4,635,125円	4,289,280円	5,870,805円

本市の負担	業務委託料(D) (運行経費額(B)－収入総額(C))	9,022,585円	9,993,510円	2,557,569円	3,209,098円	7,045,062円
	経常的な費用に関する本市負担額(E) (運行委託料(A)－収入総額(C))	5,147,365円	6,109,110円	1,706,769円	1,901,098円	5,051,706円
	全経費に係る本市負担率(D/B)	87.5%	92.9%	35.6%	42.8%	54.5%
	経常的な費用に関する市負担率(E/A)	79.9%	88.9%	26.9%	30.7%	46.3%

3 実証運行の利用者の状況

【北新町地区】

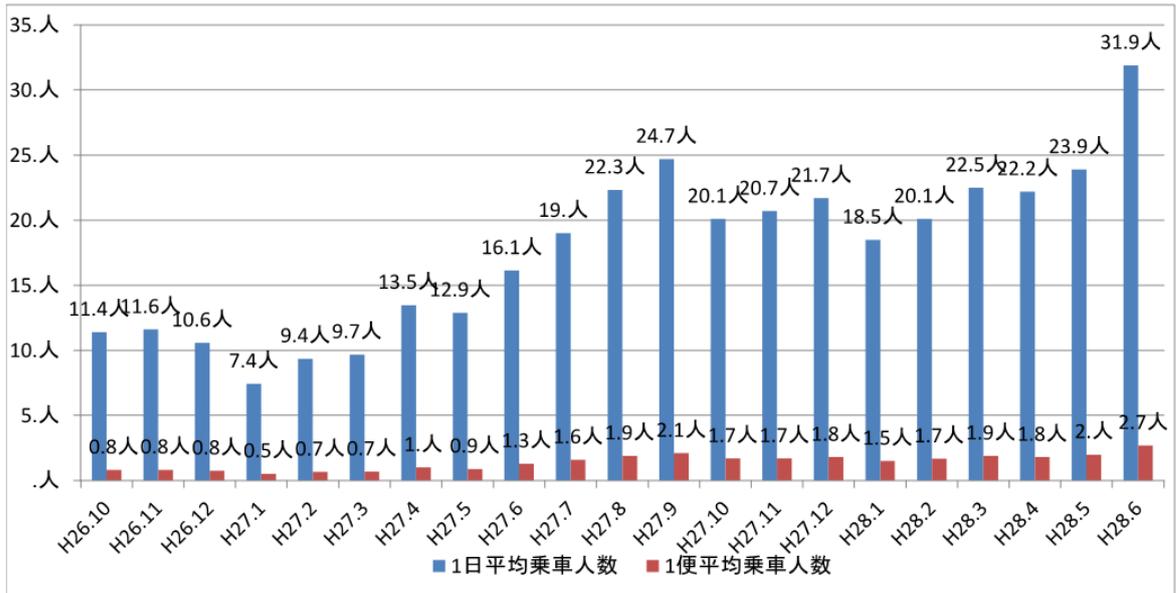


前年同月比(1日平均乗車人数)

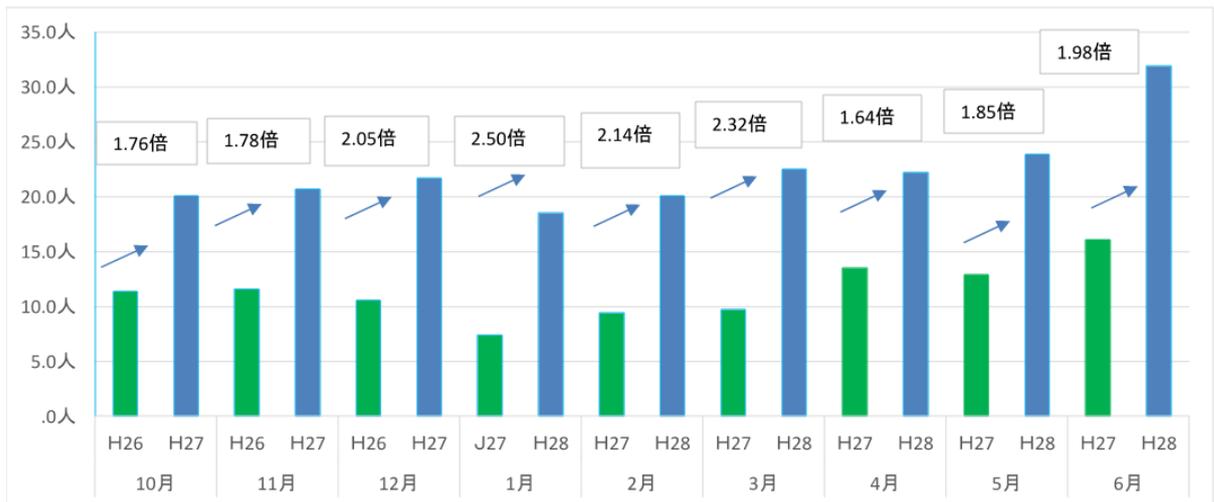


平成27年6月からの市立病院への延伸の効果もあり、8月に当初予測を上回る事となった。また、昨年度同時期と比較すると1.07倍以上になり、乗車人数が伸びている。

【萩の台地区】



前年同月比(1日平均乗車人数)



平成27年6月からの運行経路の見直しにより、萩の台内を迂回するルートが解消されることによる利便性の向上や、地元自治会のコミュニティバスの利用促進への協力もあり、6月以降順調に伸びている。平成28年4月以降、平均利用者数は増加しており、ダイヤ改正があった平成28年6月には、過去最高の数値を出しており、今後も利用者数の増加が見込まれる。